

気仙沼市防災マップ 津波 全体図

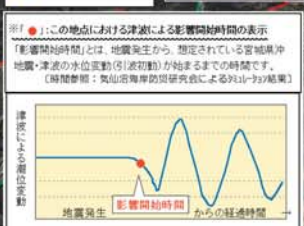
このマップは、みなさんに津波災害の危険性を知らせていただき、防災について考えてもらうために作成しました。
ある条件のもとで想定した津波浸水区域ですので、浸水区域の外であっても想定を越えた津波が発生すれば被害が生じてしまいますので、油断することなく日ごろから避難や防災について考えておきましょう。

地震のときは・・・

- 地震を感じたら、机やテーブルの下にかくれ、身を守る
- ガス器具などを、落ち着いて冷卻に消火する
- ドアを開けて、出口を確保する
- 落下物の危険があるので、あわてて外にとびださない
- 災害時は「自動」と「共助」が大切
自動：自分の命は自分で守る
共助：お互いの助け合い

津波浸水危険区域の説明
この地図は、宮城県が実施した、「第三次被害想定調査」の結果に基づいて、宮城県沖地震（運動型）に伴い津波が発生した場合の、市内の予想浸水区域と過去の津波の浸水域を表示しています。
※あくまで「想定した津波」による予想浸水区域ですので、到達しない場合または、想定を越えた津波は押し寄せるとも考えられます。

- 凡例**
- 市役所
 - 警察署
 - 駐在所・派出所
 - 消防署
 - 病院
 - 学校
 - 広域避難所
 - 津波避難ビル
 - 津波避難場所
 - 津波影響関係
 - 避難方向
 - 津波危険区域
- 浸水深ランク区分**
浸水した場合に想定される浸水深（ランク別）
- 5.0m以上の区域
 - 2.0m～5.0m未満の区域
 - 1.0m～2.0m未満の区域
 - 0.5m～1.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域



平成15年度に宮城県が実施した「第三次宮城県地震被害想定調査」による調査結果を基にしています。
本ハザードマップの背景図にはIKONOS衛星画像を使用しています。
©日本スペースイメージング（株）

わが家の防災マップ

《津波のとき》
避難先までを地図に書いてみよう！
（危険な場所には注意！）

平常時の心得

- 地域をよく知ろう！
- 訓練に参加しよう！
- 防災についてみんなで学ぼう！
- 家族で「もしものとき」について話し合いを！

非常時 持ち出し品

- 懐中電灯
- 貴重品
- 衣類
- ラジオ
- 応急医薬品・常備薬
- 飲料水・食料

わが家の避難場所（津波のとき）

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校・パート先等の電話番号

家族の集合場所

緊急連絡先（親戚宅や携帯電話など）

津波災害

津波とは

三陸沖では、日本列島を乗せている北米プレートの下に太平洋プレートがもぐり込み、北米プレートが引きずり込まれています。北米プレートの裏面が限界に達すると元の状態に戻ろうとして跳ね上がります。これが地震・津波の原因となるのです。

- 地震の揺れは必ず津波に注意しましょう。
- 地震を感じなくても津波が来る場合があります（明治29年の三陸地震津波では地震は弱かったにもかかわらず津波が押し寄せました）
- 津波はとても速い。水深5000mでは時速約800km（音の2倍）、水深500mでは時速約250km（新幹線のみ）の速さで伝わります。
- 津波は海岸に近づくともにも高さを増します。三陸海岸のような地形では急激に高くなります。どんなに高い堤防でも越えてしまう可能性があります。
- 津波の前に潮が引くとは限りません。突然大きな波が襲ってくる場合があります。
- 津波は第1波、第2波、第3波・・・と繰り返し襲ってきます。

津波注意情報・情報発表時のサイレン信号

津波注意情報	サイレン信号
津波注意情報	2分間のサイレン（2分間のサイレン）
津波警報	2分間のサイレン（2分間のサイレン）
津波警報（大津波）	2分間のサイレン（2分間のサイレン）

《津波のとき》

- 強い地震を感じたら、すぐに海浜から離れる。海の様子を見に行かない安全な場所で正確な情報を！
- 地震を感じなくても津波警報が発表されたら沿岸の危険な区域にいる人はすぐに避難！
- 海水浴場や磯釣り場は危険！津波注意情報でも、海水浴や磯釣りは危険なので行わない
- 津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意情報解除までは気をゆるめない海に近づかない！

